

進む情報技術

暮らしを快適にするため活用が課題

インターネット

ケーブルテレビ

携帯電話

ブロードバンド

地上デジタル放送

情報技術の進歩

インターネットなど

情報機器といえば、テレビ、ラジオ、電話などが代表的ですが、最近では技術が進歩し、新しい高度な情報を提供する機器が私たちの暮らしの中に広まってきています。

まずパーソナルコンピュータの普及とともに、進んでいるのがインターネットです。町内でも、すでに職場や家庭でインターネットを使って情報を得たり、公民館などのパソコン教室で、触れる機会も増えてきました。

通信速度を

早くすることが課題

現在、町内で使われているインターネットは、通信速度が遅く、情報を得るのに時間がかかります。快適に利用するためには、通信速度を早くすること（ブロードバンド化）が課題です。

テレビも、幅広い番組や地域の情報提供を目指して、アンテナの代わりに、各家庭に線をつなぐケーブルテレビ



パソコンは子どもたちにも身近な存在

（CATV）を導入している市町村も増えています。

また、私たちが見ている地上波テレビも、国の政策で電波のデジタル化が進められることになり、鳥取県内では、2006年以降順次デジタル放送化が始まり、2011年には、すべてのテレビ局が変わる予定になっています。

テレビもデジタル化
高画質な放送が可能

テレビが、デジタル化されると、より高画質な放送、字幕・解説放送の充実、地域に密着した暮らしに役立つさまざまな番組が、楽しめるようになると言われていました。ただし、いままでのテレビ